

＜ 運営推進会議における評価_様式例 ＞ ※公表用

【事業所概要】

法人名	社会福祉法人 長岡福祉協会	事業所名	看護小規模多機能型居宅介護大島
所在地	(〒 940-2104) 長岡市大島町字谷内甲 1161 番地		

【事業所の特徴、特に力を入れている点】

当事業所では、『介護が必要になった場合でも地域を離れることなく、自宅で暮らし続けていける』ことを理念としてサービスを提供しており、以下のような特徴があります。1 つめは、看護小規模多機能型居宅介護であるため、医療ニーズのある方を中心に受け入れをさせていただいています。2 つめは、平均要介護度の高さです。当事業所のご利用者の平均要介護度は現在 3. 0 であり、比較的中重度の方が多くご要望があれば看取りの方の受け入れもさせていただいています。そのため職員一人ひとりの高い専門性が求められ、日々研修や勉強会を通して研鑽を積んでおり、本来の理念である「中重度要介護者を在宅で支えられる仕組みづくり」の実践に取り組んでいます。3 つめは、ご利用者の馴染みの暮らしを一番に考えている点です。元々馴染みがあって且つ、生活圏域から出ない範囲として、登録ご利用者のお住まいから約 2km 圏内の方を就寝に密着したサービスを行っております。事業所が近くにあることにより、ご利用者の急な状況変化やご家族の急な用事の際などに臨機応変にサービスを組み替えられ、柔軟な対応が可能です。ご利用者やご家族の生活を総合的にサポートするために、事業所だけでなく、地域や医療・行政など関係機関と連携・調整を行い、地域包括ケアの視点に立って取り組んでいます。

【自己評価の実施概要】

事業所自己評価 実施日	西暦 2024 年 11 月 28 日	従業者等自己評価 実施人数	(17) 人 ※管理者を含む
----------------	---------------------	------------------	------------------

【運営推進会議における評価の実施概要】

実施日	西暦 2025 年 2 月 20 日 (予定)	出席人数 (合計)	() 人 ※自事業所職員を含む
出席者 (内訳)	☒ 自事業所職員 (1 人) ☒ 市町村職員 (0 人) ☒ 地域包括支援センター職員 (1 人) ☒ 地域住民の代表者 (2 人)		

	☐ 利用者（　　0人） ☐ 利用者の家族（　　0人） ☒ 知見を有する者（　　1人） ☐ その他（　　0人）
--	---

■ 前回の改善計画の進捗評価

項目		前回の改善計画	実施した具体的な取組	進捗評価
I. 事業運営の評価 (評価項目 1～10)		・集まって話し合う頻度は見直す必要があると考えているが、各小規模事業所のICT担当が集まり、マニュアルの見直しや課題を共有する場面を設けていく。 ・個人情報保護に関する研修会のなかで、SNSの利用を含めた適切な情報管理について盛り込むようにする。	・各小規模事業所のタブレット担当者が集まる頻度を年4回（3か月に1回）に変更し実施。各事業所から集約された課題について話し合い、随時修正を進めている。 ・報道もされた他法人での事案を取り上げ、自事業所に置き換えながら、より危機感を感じる内容、コンプライアンスについて考える機会となった。	・当たり前に行っている記録であっても写真の撮り方や取り扱い方法を誤ると大きなトラブルに繋がることがよく理解でき、普段当然のことに行っていることでも、それが適切なことなのかどうかを振り返ることができた。
II. サービス提供等の評価	1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11～27)	・身寄りもなく近隣に友人や知人がいない方、関りを求めている方など情報収集（とくに夜間）がスムーズに行えないことがある。また、宿泊のサービスを利用するにも本人が希望していない、低所得など経済的理由も重なって本人からの言葉や部屋の様子から推察しているところである。ICTを導入（同意が得られれば）し、離れた場所からでも情報が得られないか検討、プランニングに繋がっていききたい。	・運営推進会議のなかでもライブコネクト（実証実験中）について紹介。大島でも2名の方が協力しており、モニター画面を実際に見ていただいた。十分とは言えないところもあるが、夜間の排泄状況や夏場・冬場の室温などが把握できるだけでも助かる場所があった。	・引き続きDX化を進め、研修などにも参加をし、情報収集にも努め、様々な状況に置かれたご利用者が安心して生活が送れるように、職員の負担軽減が図れるように検討、対応していきたい。

	2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 28～31)	・自事業所からだけではなく、他機関、地域からも相談したいケースなどがあれば運営推進会議を活用して多角的な意見交換を実施していきたい。	・今年度第2回目の運営推進会議において、苦情案件を取り上げ、委員の皆様とこのケースを掘り下げる作業を行った。	・運営推進会議で頂戴した委員の皆様の意見などを基に事業所内でも周知を図ると共に改善策として盛り込み、事業運営に反映をさせてきた。第三者だから気付いていただけたところ（視点）もあり、非常に学びに繋がっている。引き続き貴重なご意見をいただきながら、より質の高いサービス提供を目指していきたい。
	3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画(評価項目 32～41)	策定なし		
Ⅲ. 結果評価 (評価項目 42～44)		策定なし		

※「前回の改善計画」および「実施した具体的な取組」は事業所が記入し、「進捗評価」は自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します

■ 今回の「評価結果」および「改善計画」

項目	評価結果	改善計画
I. 事業運営の評価 (評価項目 1～10)	6. ・周知が必要な内容については当日中に申し送りを行い、事業運営に反映できるよう努めている。 ・議事録についても誰でもいつでも閲覧ができるような状態にし、客観的かつ専門的な目、地域からの声が意識できるようにしている。 ↓ ・会議録を速やかに作成され、手元に届いています。ありがとうございます。 ・議事録は、事業所内のどこに設置されているか教えてください。 ・今後も運営推進会議の中だけでなく、職員皆様にも有益な意見交換の場となるよう参加者として精進したいと思います。今後も継続のほどよろしくお願いします。	・ R7. 2. 20 の運営推進会議において委員の方々には周知を図り、今後設置方法や場所については、目立つように工夫を行う。
II. サービス提供等の評価	1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11～27) 27. ・対象者なし。 ・看取り対応が可能であること、環境を整えていることをこれからも PR していきたい。 ↓ ・看取りについて、利用者やご家族から相談を受けた際は、速やかに、適切な説明等に努め、安心してサービスを受けてもらえるような対応を期待します。 ・看取り対応ではどのような介入が可能であるかも含め、ACP の視点からも PR をお願いいたします。	・過去には看取り対応をさせていただいたこともあったが、ここ 2～3 年は意向がなく、現在自宅での看取りを希望されているご利用者は 1 名のみ。その方も現時点では看取り期とは言えないご状態である。 引き続き看取りのご希望があった際には実現ができるよう環境を整えるとともに、周囲にそのような体制が平時から準備ができていることを利用開始時や状態変化時などに意識をしていただけるよう働きかけていく。

	2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 28～31)	策定なし	
	3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画 (評価項目 32～41)	40. ・運営推進会議や様々な研修の場を活用し問題提起、意見などの発言を行っているが、管理者や介護支援専門員に偏りがちである。 ↓ ・運営推進会議やカンファレンスなどに介護職、看護職目線の話題提供やケース検討などの実施を検討いただくのはいかがか。 ・大島圏域に住む利用者や家族の参加、もしくは事前に意見を聴取することで違った視点からの課題検討が出来るのではないでかと思う。	・運営推進会議においてケース検討を行う際に看護師や介護職員の同席を、難しい場合はそれぞれの立場からの意見を盛り込んだ内容で進めていく。 また、サービスの特性上、独居者の割合が多かったり、拒否をされるため、参加いただくことが難しい状況が続いているが、引き続き利用者及び家族に対し委員の打診を続けていく。参加が難しくとも満足度調査によって得られるご意見をしっかりと反映することで課題検討の一助としたい。
Ⅲ. 結果評価 (評価項目 42～44)		策定なし	

※自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します。

■ 評価表 [事業所自己評価]

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
Ⅰ 事業運営の評価【適切な事業運営】							
(1) 理念等の明確化							
① 看護小規模多機能型居宅介護の特徴を踏まえた理念等の明確化とその実践							
1	○ サービスに求められる「①医療ニーズの高い利用者の在宅生活の継続支援」、「②在宅での看取りの支援」、「③生活機能の維持回復」、「④家族の負担軽減」、「⑤地域包括ケアへの貢献」を含む、独自の理念等を掲げている	○				・法人理念に基づき、事業所に求められる役割を果たすための取組について、年間を通じて行えていると思います。 ・地域での暮らしを継続するための考え方、視点が伴っている事業所であり事業目標であると考えます。今後も継続をお願いいたします。	✓ ①～⑤の全てを含む理念等がある場合は「よくできている」 ✓ ①～⑤の一部を含む理念等が掲げられている場合は、「おおよそできている」もしくは「あまりできていない」 ✓ 独自の理念等が明確化されていない場合は「全くできていない」
2	○ サービスの特徴および事業所の理念等について、職員がその内容を理解し、実践している	○				・事業所理念や年間目標を目に入るところに掲示することで、日々理念等を意識した対応ができていると思います。 ・今後も変わらず継続してください。	✓ 「サービスの特徴および理念等を踏まえた実践」の充足度を評価します ✓ 独自の理念等が明確化されていない場合は「全くできていない」

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	およそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
(2) 人材の育成							
① 専門技術の向上のための取組							
3	○ 職員との話し合いなどを通じて、各職員の中長期的な育成計画などを作成している	○				・育成計画に沿った個別面談を通じ、職員一人ひとりと中長期的な視野を共有できることは大変良いことだと思います。 ・今後も継続してください。	✓ 「育成計画の作成」の状況について、充足度を評価します ✓ すべての職員について育成計画などを作成している場合は「よくできている」 ✓ 育成計画などを作成していない場合は「全くできていない」
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> ・人事考課制度による面談や個別面談を通じて職員一人ひとりの個別計画を作成し、半年に1回評価を一緒に行っている。					
4	○ 法人内外の研修を受ける機会を育成計画等に基づいて確保するなど、職員の専門技術の向上のための日常業務以外での機会を確保している	○				・職員の「やりたい」という気持ちや意欲を尊重し、今後も知識や技術の向上に努められることを期待します。 ・今後も継続し、研修資料の共有や伝達研修などで職員皆さんの知識・技術の向上に生かしてください。	✓ 「専門技術の向上のための日常業務以外での機会の確保」について、充足度を評価します
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> ・法人内外の研修計画やその職員のやりたいことの確認と、参加したい研修の内容を個別計画に落とし込んでいる。 ・法人や自治体、外部機関が主催する研修に参加する機会を設け、職員の知識・技術向上に向けた取り組みをしている。					
② 介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保							
5	○ 介護職・看護職・介護支援専門員の間で、職員が相互に	○				・日頃から、多職種間で情報共有が行われていることか	✓ 「情報を共有する機会」の充足度を評価します

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
	情報を共有する機会が、確保されている	<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・タブレットを活用し迅速に多職種で情報が共有できるよう工夫をしている。 ・毎月のミーティング以外にも毎日のミニミーティングにおいても情報共有を図っている。 ・事故やトラブルが発生した際には当日中に職員が集まり、分析と再発防止策の立案と実践まで行うように徹底している。また、当日参加できなかった職員にも翌日以降に直接申し送りをしながら説明する場面を設けるようにしている。				ら、トラブル発生時においても速やかに対応し、最善策を検討することができていると思います。 ・徹底的なヒヤリハットの共有、多職種間での知識の共有に対して頭が下がる思いです。今後も是非継続をお願いいたします。 ・事故報告だけではなくヒヤリハットも定期的にあがっており、意見を言いやすい雰囲気、また、当事者だけではなく事業所の問題として再発防止に取り組んでいる姿勢が感じられます。	✓ 例えば「利用者等の具体的なケースについて話し合うための、定期的なカンファレンスの開催」などが考えられます
(3) 組織体制の構築							
① 運営推進会議で得られた意見等の反映							
6	○ 運営推進会議で得られた要望、助言等を、サービスの提供等に反映させている	○				・会議録を速やかに作成され、手元に届いています。ありがとうございます。 ・議事録は、事業所内のどこに設置されているか教えてください。	✓ 「得られた要望・助言等のサービスへの反映」の視点から、充足度を評価します
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・周知が必要な内容については当日中に申し送りを行い、事業運営に反映できるよう努めている。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
		・議事録についても誰でもいつでも閲覧ができるような状態にし、客観的かつ専門的な目、地域からの声が意識できるようにしている。				・今後も運営推進会議の中だけでなく、職員皆様にも有益な意見交換の場となるよう参加者として精進したいと思います。今後も継続のほどよろしくお願いします。	
② 職員が安心して働くことができる就業環境の整備							
7	○ 職員が、安心して働くことができる就業環境の整備に努めている	○				・突発的な休みであっても休暇を取得しやすい雰囲気があったり、負担が偏らないように役割分担を行うなど、就業しやすい環境整備に努められていることがわかりました。 ・きめ細かいサービスの提供が成されていていつも心強く思っています。職員の皆さんに過度な負荷がかからないよう今後も継続と適宜振り返りをお願いいたします。 ・職員が働きやすい環境作りを今後も継続していただければと思います。	✓ 「職員が、安心して働くことのできる就業環境」の充足度を評価します ✓ 例えば、「職員の能力向上の支援」、「精神的な負担の軽減のための支援」、「労働時間への配慮」などが考えられます

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
(4) 情報提供・共有のための基盤整備							
① 利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための環境整備							
8	○ 利用者等の情報について、 随時更新を行うとともに、 必要に応じて職員間で迅速 に共有できるよう工夫され ている	○				・番号5と同様 ・今後も継続してください。	✓ 「情報の随時の更新」と「職員間 で迅速に共有するための工夫」の 2つの視点から、充足度を評価し ます
		[具体的な状況・取組内容] ・5同様					
(5) 安全管理の徹底							
① 各種の事故に対する安全管理							
9	○ サービス提供に係る利用者 等および職員の安全確保の ため、事業所においてその 具体的な対策が講じられて いる	○				・今年度の公用車事故が0件 ということからも職員全員 の交通安全に対する意識が 高いことが伺えます。個人情 報保護についても、引き続き 十分留意し、対応していただ きたいと思います。 ・安全確保についての取り組 みがよくされていると運営 会議ごとを感じています。今 後も継続し、利用者だけでな く職員の皆さんが安全に働 けるよう継続して下さい。 ・タブレット導入で慣れない 部分もあるかとは思いますが	✓ 「各種の事故に対する予防・対 策」の充足度を評価します 対策が求められる事項としては、 例えば「医療・ケア事故の予防・ 対策」、「交通安全」、「夜間訪問時 の防犯対策」、「個人情報保護」な どが考えられます
		[具体的な状況・取組内容] ・5同様 ・大島では公用車事故や違反 0 件を目指 し、車両担当者から都度注意喚起を行い、 今年度は0件で推移している。 ・タブレットを使用していることもあり、 情報管理についての留意事項をタブレッ ト担当者から発信してもらい、他事業所で 発生した PC トラブル（情報漏洩ではない） についても、即日中に全事業所に情報が提 供され、各事業所において必要な対策を講 じることができている。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
						が、しっかりと情報管理をされていると思います。タブレットは利便性が高いですが紛失等で全ての情報が漏洩する危険性も高いため、個人情報情報の取扱いに気をつけていただければと思います。	
② 災害等の緊急時の体制の構築							
10	○ 災害などの緊急時においても、サービス提供が継続できるよう、職員、利用者、関係機関の間で、具体的な対応方針が共有されている	○				・災害時発生対応マニュアルの作成や災害時を想定した訓練を実施し、有事の際に適切な対応がとれるよう日頃から備えていることがわかりました。今後も、訓練の反省点等を活かし、より効果的な対応方法等を見出してほしいと思います。 ・個々の事業の能力の高さと、グループ力の高さを生かした対応であると感じます。今後も運営会議などを通じて地域の災害対策など共有していければと思います。 ・緊急時に備えて、訓練や園	✓ 「緊急時におけるサービス提供のための備え」について、充足度を評価します ✓ 例えば、「安否確認方法の明確化」、「連絡先リストの作成」、「医療材料などの確保」、「災害時ケアのマニュアル化」などが考えられます

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	およそ でき てい る	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
						全体での連携を継続してください。	
Ⅱ サービス提供等の評価							
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供							
(1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成							
① 利用者等の 24 時間の暮らし全体に着目した、介護・看護両面からの一体的なアセスメントの実施							
11	○ 在宅時の利用者の生活状況や家族等介護者の状況等を含む、利用者等の 24 時間の暮らし全体に着目したアセスメントが行われている	○				・利用者、家族等に限らず多角的な視点によりアセスメントを行っています。 ・利用者本人および家族・関係者など本人を取り巻く環境も含めて無理がなく生活が続けられるアセスメントを続けてください。 ・本人・家族が何を望んでいるか意向を確認した上で、在宅生活を継続できるよう支援されています。	✓ 「家族等も含めた 24 時間の暮らし全体に着目したアセスメント」の充足度を評価します ✓ ケアが包括的に提供される看護小規模多機能型居宅介護においては、家族等を含めた 24 時間の暮らし全体に着目したアセスメントが必要となります
12	○ 介護職と看護職がそれぞれの視点から実施したアセスメントの結果が、両職種の間で共有されている	○				・今後も多職種間において多角的な視点によるアセスメントを行ってください。	✓ 「介護職と看護職間でのアセスメント結果の共有」について、充足度を評価します ✓ 介護・看護の両面から行われたア

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
		専門員も共有できるようになっている。				・職員間での情報共有を行い、看護小規模多機能型居宅介護の強みを生かせるよう今後も継続してください。	セスメントの結果は、その後のつき合わせなどを通じて、両職種で共有されることが望ましいといえます
② 利用者等の「尊厳の保持と自己実現の達成」を重視した計画の作成							
13	○ 家族を含む利用者等の考えを把握するとともに、その目標の達成に向けた計画が作成されている	○				・本人、家族の気持ちや意向に寄り添った計画の作成を、継続して行ってください。 ・生活場面に即した意見の汲み取りが十分出来ていると感じます。	✓ 「家族等の考えを含めた計画の作成」について、充足度を評価し利用者のみでなく、家族等の考えを適切に把握するとともに、その考えを含めた計画を作成することは重要であるといえます
14	○ 利用者の有する能力を最大限に活かした、「心身の機能の維持回復」「生活機能の維持又は向上」を目指すことを重視した計画が作成されている	○				・今後も、利用者の残存機能を評価し、自立支援を目指した計画の作成を望みます。 ・本人の残存機能をポジティブに捉えた計画作成が成されていると感じます。	✓ 「利用者の有する能力を活かした、心身機能の維持回復を重視した計画の作成」について、充足度を評価します ✓ 「利用者が尊厳を持って、その有する能力に応じ地域において自立した日常生活を営む」ために、必要な視点であるといえます
③ 利用者の今後の状況変化の予測と、リスク管理を踏まえた計画の作成							
15	○ 利用者の今後の状況変化の予測と、リスク管理を踏ま	○				・引続き、看護職と連携し、今後起こりうる利用者の状	✓ 「状況変化の予測」と「リスク管理」の2つの視点から、充足度を

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
	えた計画が作成されている	<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・持病を抱えた方が多く利用されており、リスク管理の視点を踏まえながら、また、看護からも指導してもらいながら計画を作成している。				況変化やリスク管理を踏まえた計画作成に努めてください。 ・リスクを考慮しつつも本人の残存機能を十分に生かせる計画作成をお願いいたします。	評価します ✓ 介護・看護が一体的に提供される看護小規模多機能型居宅介護においては、特に看護職による予後予測などを踏まえて計画を作成することが重要です
(2) 利用者等の状況変化への迅速な対応とケアマネジメントの実践							
① 継続したアセスメントを通じた、利用者等の状況変化の早期把握と計画への反映							
16	○ サービス提供を通じた継続的なアセスメントにより、利用者等の状況変化を早期に把握し、計画への適宜反映が行われている	○				・毎日の関わりの中で利用者等の状況変化を把握することで、大きなトラブルの回避に繋がっていることが伺えました。 ・些細な変化も職員間で十分に共有され対応できていると感じます。	✓ 「早期の把握」と「計画への適宜反映」の2つの視点から、充足度を評価します
② 居宅への訪問を含む、利用者等の暮らし全体に着目したアセスメントの実施と計画への反映							
17	○ 通い・泊まりの利用に過度に偏らないよう、適時適切に利用者宅を訪問することで、家族等を含めた居宅での生活状況の変化を継続的に把握している	○				・利用者の生活状況の把握とあわせて、不審な訪問販売等の被害に遭わないように日頃から自宅内の様子を気にかけていることは良いことと思います。何か変化があれば	✓ 「訪問による、家族等を含めた居宅での生活状況の変化の継続的な把握」という視点から、充足度を評価します ✓ 訪問によるケアの提供は、家族等を含めた居宅での生活状況を把

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
		めている。 ・不審な訪問販売や消費者被害に遭わないよう自宅内の様子にはとくに目を配るよう にしている。				ば、速やかに情報共有を行 い、被害の未然防止に繋げて ほしいと思います。 ・訪問に重きを置き、本人の 生活を支える介入が出来て いると感じます。今後もスタ ッフの皆さんに過度な負担 がかからない中で継続をお 願いします。 ・ただ訪問業務をこなすだけ ではなく、生活状況を確認し て適宜対応されているのが 伝わります。	握するためにも重要です
③ 利用者等の状況変化や目標の達成状況等に関する関係多職種との情報共有							
18	○ 利用者等の状況変化や目標 の達成状況等について、主 治医など、事業所内外を含 む関係多職種と情報が共有 されている		○			・フェニックスネットを活用 し、主治医を含めた多職種間 と情報共有が図られている ことが伺えます。 ・適宜同行、文書での情報共 有など状況に合わせた対応 が出来ていると感じます。 ・フェニックスネットを活用 することで、迅速な情報共有 が行えていると思います。	✓ 「利用者等の状況変化や目標の 達成状況等の事業所内外を含む 関係多職種との情報共有」につい て、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] ・主治医を含めた関係機関とはフェニックス ネットにおいて共有を図っている。 ・フェニックスネットについては全ての主 治医と連携しているわけでないため、受 診に同行したり報告書を作成したりと工夫 をしている。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
(3)介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供							
① 介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供							
19	○ 介護職と看護職のそれぞれの専門性を最大限に活かしながら、柔軟な役割分担が行われている		○			・専門性を活かしたサービスの提供に努められています。それぞれの状況を理解し、効果的なサービス提供を行えるよう努めてください。 ・各職種にしかできない業務は明確な役割分担を行い、両職種が対応できるものについては状況に応じて役割を変更するなど柔軟に対応していきましょう。 ・事業所が1つのチームとして適宜対応できるよう取り組まれています。今後も継続していただければと思います。	✓ 「介護職と看護職の専門性を活かした役割分担」について、充足度を評価します ✓ 介護・看護が一体的に提供される看護小規模多機能型居宅介護では、効果的・効率的なサービス提供のために、各々の専門性を活かした役割分担や、業務の状況等に応じた柔軟な役割分担を行うことが重要です
20	○ 利用者等の状況について、介護職と看護職が互いに情報を共有し対応策を検討するなど、両職種間の連携が行われている	○				・番号5と同様 ・継続をお願いいたします。	✓ 「介護職と看護職の情報共有および対応策の検討」について、充足度を評価します

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
② 看護職から介護職への情報提供および提案							
21	○ 看護職から介護職に対して、疾病予防・病状の予後予測・心身の機能の維持回復などの観点から、情報提供や提案等を行っている	○				・看護職、介護職間で適切な情報共有が行われており、職員が安心して夜勤業務に取り組める環境が整備されていることが伺えました。今後も看護、介護職間で適切な情報共有や効果的な業務の遂行に努めてください。 ・看護職が勤務している「看護小規模」の大きな強みであると感じます。今後も積極的に継続していってください。 ・19 同様	✓ 「看護職の専門性を活かした、介護職への情報提供や提案等」について、充足度を評価します ✓ このような情報提供や提案等は、看護職の専門性を活かした役割の1つとして期待されます
(4)利用者等との情報及び意識の共有							
① 利用者等に対するサービスの趣旨及び特徴等についての情報提供							
22	○ サービスの趣旨および特徴等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている		○			・利用者やご家族等に伝わるよう、工夫を凝らし懇切丁寧に対応されていると思います。 ・特に、介護保険サービスを新規で利用する利用者には説明が難しいサービス形態であると思います。本人や家	✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
		しながら丁寧に対応していきたい。				族の状況・理解度に合わせた 配慮を今後もお願いいたし ます。 ・初回訪問に同行させて頂い ておりますが、いつも丁寧 に説明をされていられると思 います。初めてサービスを使 う利用者やその家族に合わ せた説明の仕方かと思いま す。	
② 利用者等への「在宅での療養生活」に係る指導・説明							
23	○ 作成した計画の内容や在宅 での療養生活の継続に向け て留意すべき点等につい て、分かりやすく説明し、利 用者等の理解を得ている		○			・番号 22 と同様 ・サービスを開始することで 初めてしっかりとした理解 の得られるサービスである とも感じます。項目 22 と同 様、ケースに応じた配慮をお 願いいたします。	✓ 「利用者等の理解」について、充 足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] ・22 同様 ・認知症などの影響もあり、理解が乏しい ことが多いが、利用開始前や開始後も何度 も自宅へ足を運び、丁寧な説明、対応を心 掛けています。					
24	○ 利用者等が行う医療処置や 医療機器の取り扱い方法、 家族等が行うケアの提供方 法等について、分かりやす く説明し、利用者等の理解	○				・番号 22 と同様 ・実際の生活場面で医療処置 や医療機器の取り扱い方法 を説明していただけること はとても心強いと思いま す。	✓ 「利用者等の理解」について、充 足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] ・23 同様 ・訪問看護を追加し本人、家族へ助言、指					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
	を得ている	導を行い、安心に繋がっているものと考え る。				22、23 同様ケースに応じた配 慮のもと説明をお願いいた します。	
③ 重度化した場合や終末期における対応方針の、利用者等との相談と共有							
25	○ 利用者本人（意思の決定・表 示ができない場合は家族 等）の希望や意向を把握し、 サービスの提供に反映して いる	○				・引続き、利用者やご家族の 意向を尊重し、サービス提供 に繋がってください。 ・今後も継続してください。 ・自己評価の通り。普段の支 援の中で上手に利用者の希 望や意向を汲み取り、余暇活 動の時間に活かしていただ けと思います。	✓ 「サービス提供への適切な反映」 について、充足度を評価します
26	○ 在宅生活の継続の可否を検 討すべき状況を予め想定 し、その際の対応方針等につ いて、利用者等と相談・共 有することができている		○			・予後を踏まえた対応方針につ いて、利用者等と相談、共 有ができていると思います。 これからも、適切なタイミン グをとらえ、対応方針につ いて共有していただきたいで す。 ・必要に応じて、かかりつけ 医療機関とも協力して利用 者や家族との検討を進めて ください。	✓ 「将来に発生し得る様々なリス クを想定した上での、対応策の検 討と共有」について、充足度を評 価します

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における意見等	評価の視点・評価にあたっての補足
		よくできている	おおよそできている	あまりできていない	全くできていない		
						・その時点では想像出来ず答えられなかったとしても、支援者側がお声掛けをすることが機となり、もしもの将来を考えだすきっかけになるかと思います。	
27	○ 終末期ケアにおいて、利用者等に適切な時期を見計らって、予後および死までの経過を丁寧に説明し、説明した内容や利用者等の意向等を記録として残している				○	・看取りについて、利用者やご家族から相談を受けた際は、速やかに、適切な説明等に努め、安心してサービスを受けてもらえるような対応を期待します。 ・看取り対応ではどのような介入が可能であるかも含め、ACPの視点からもPRをお願いいたします。	✓ 「予後および死までの経過の説明」と「記録の有無」の2つの視点から、充足度を評価します ✓ 「丁寧に説明し」且つ「記録として残している」場合は「よくできている」
2. 多機関・多職種との連携							
(1) 病院・施設等との連携による円滑で切れ目のないケアの提供							
① 病院・施設等との連携や情報共有等による、在宅生活への円滑な移行							
28	○ 病院・施設等との連携・情報共有等により、病院・施設等からの、利用者の円滑な在宅生活への移行を支援している	○				・医療機関をはじめ、看護師との連携・情報共有がなされており、円滑な在宅生活への移行ができていると思います。	✓ 「利用者の円滑な在宅生活への移行」について、充足度を評価します ✓ 例えば、「退院・退所前のカンファレンスへの参加」、「利用者等に係

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
		安心して自宅へ戻れるよう環境を整備しながら円滑な退院支援を心掛けている。 ・必要な場面では大島と医療機関の看護師間でも情報交換しながら対応している。				・カンファレンスだけでなくサービス導入時の面談など丁寧な連携をいただいていると感じています。今後もよろしく願いいたします。 ・入院・入所となり終了したケースであっても、その後に病院・施設側と情報共有し、本人・家族の意向に添うようであれば再度看護小規模の利用に繋がられるように連携を図っていただければと思います。	る病院・施設等との継続した情報共有」などの取組が考えられます
② 入院・入所の可能性がある利用者についての、主治医等との対応方針の共有							
29	○ すべての利用者について、緊急時の対応方針等を、主治医等と相談・共有することができている		○			・対応方針については、主治医の判断に基づきそれぞれの専門職と共有できていることがわかりました。 ・かかりつけ医療機関の職員とも協力しながら進めていただきます。	✓ 「緊急時の対応方針等の主治医等との相談・共有」を評価します ✓ 利用者の状態変化・家族等介護者の状況の変化など、実際に発生する前の段階から予め対応方針等を主治医等と相談・共有しておくことが重要です
		[具体的な状況・取組内容] ・家族を通じて、あるいは看護師や介護支援専門員が仲介し共有している。 ・実際はその時の状況から主治医が判断、指示することが多い。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていない	全く できていない		
③ 地域の医療機関等との連携による、急変時・休日夜間等に対応可能な体制の構築							
30	○ 地域の医療機関等との連携により、休日夜間等を含めて、すべての利用者について、急変時に即座に対応が可能な体制が構築されている	○				・番号 29 と同様 ・急変時に家族が今後の方針を判断する一助となるよう、平時より将来的な希望や ACP 的な話し合いを重ねていってください。	✓ 「即座な対応が可能な体制の構築」について、充足度を評価します
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・29 同様 ・看取り対象の方を除いては休日夜間については当番病院に搬送されるケースが多い。その点については必ずしも本人、家族の意向通りではなく、搬送先病院の受け入れ態勢の都合で左右される場合があることを説明し理解をいただいている。					
(2) 多職種との連携体制の構築							
① 運営推進会議等における、利用者のために必要となる包括的なサポートについての、多職種による検討							
31	○ 運営推進会議等において、利用者のために必要と考えられる包括的なサポートについて、民生委員・地域包括支援センター・市区町村職員等への情報提供や提案が行われている	○				・さまざまな視点からの情報提供や提案に耳を傾け、マネジメントに活かすよう努めていると思います。 ・毎回の会議が業務報告にとどまらず、事業所と参加者との双方向で情報提供や提案がなされていてとても良いと思います。	✓ 「利用者のために必要となる、介護保険外のサービスやインフォーマルサポート等を含めたケアの提供について、多職種とともに検討・支援を行っていくなどの取組」の充足度を評価します ✓ そのような取組をしたいことがない場合は「全くできていない」 ✓ 民生委員のみでなく、自治会長や町会長などの住民代表も対象です
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・ケース検討を通じて情報提供や提案をいただき、マネジメントに繋げている。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画							
(1) 地域への積極的な情報発信及び提案							
① サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信							
32	○ 運営推進会議の記録について、誰でも見ることができ るような方法での情報発信 が、迅速に行われている	○				・番号6と同じ ・継続をお願いします。	✓ 「誰でも見ることができる方法 での情報発信」と「迅速な情報発 信」の2つの視点から、充足度を 評価します
		[具体的な状況・取組内容] ・6 同様					
33	○ サービスの概要や地域にお いて果たす役割等につい て、正しい理解を広めるた め、地域住民向けの積極的 な啓発活動が行われている	○				・子どもから大人まで幅広い 年代の方々に向け、各所に出 向き啓発活動を行っており、 大変素晴らしいと思いまし た。こうした取り組みを続け てほしいと思います。 ・地域に根差した積極的な活 動にいつも感銘を受けてい ます。今後も継続をお願いい たします。 ・自己評価の通り。事業所内 の地域交流スペースの活用 や、コミュニティセンターへ 出向いたりと上手く情報発 信されていると思います。	✓ 「積極的な啓発活動」について、 評価する項目です ✓ 例として、「チラシ等の配布」や 「地域説明会の実施」などの取組 が考えられます。 ✓ 利用者や職員の確保のみを目的 とした活動等は除きます
		[具体的な状況・取組内容] ・地域の介護力向上の一助になればと積極 的に地域へ出向き、介護教室などを行って いる。 ・小学校の福祉授業や長岡市の委託事業で あるオレンジカフェ（認知症カフェ）も実 施している。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
(2) 医療ニーズの高い利用者の在宅での療養生活を支える、地域拠点としての機能の発揮							
① 看護小規模多機能型居宅介護事業所の登録者以外を含む、地域への訪問看護の積極的な提供							
34	○ 看護小規模多機能型居宅介護事業所の登録者以外を対象とした訪問看護を積極的に実施している	○				・登録者以外を対象とし、柔軟な対応ができています。引き続き、地域への積極的な対応をお願いします。 ・今後も継続をお願いいたします。	✓ 「指定訪問看護事業所の指定を併せて受けている事業所」のみが対象です。該当しない場合は、実施状況欄は無記入で、[具体的な状況・取組内容]欄に「指定なし」と記入してください ✓ 「登録者以外を対象とした訪問看護」を実施していない場合は、「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します
② 医療ニーズの高い要介護者の積極的な受け入れ							
35	○ 「たん吸引」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている		○			・懸念事項について、ご家族や看護、医療関係者等からも意見をもらいながら、適切な対応策を考えていただけると良いと思います。 ・かかりつけ医療機関の看護師や SW とともに対応策や（症状に対する）治療方針を相談することも是非ご検討	✓ 「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください ✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	およそ でき てい る	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
						ください。	
36	○ 「人工呼吸器」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている		○			・番号 35 と同様 ・35 同様、医療機関も巻き込んだの相談・検討をお願いいたします。 ・実際に高齢者が人工呼吸器を装着する状態になると、自宅で高齢者を看る家族にもそれ相応の覚悟が必要となり、施設入所を選択するケースが多い。選択肢を増やす為には病院を含めた支援者側の連携が必要不可欠と考えます。	✓ 「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください ✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します
37	○ 「看取り支援」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている	○				・番号 27 と同様 ・看取り支援の対応は十分に可能であると感じます。今後も継続をお願いいたします。 ・36 同様。高齢者やその家族の選択肢が増えるような働きかけが必要と思います。	✓ 「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください ✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
(3) 地域包括ケアシステムの構築に向けての、まちづくりへの参画							
① 行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解							
38	○ 管理者および職員が、行政が介護保険事業計画等で掲げている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について理解している	○				・管理者を中心に地域包括ケアシステムの理解に努め、各事業所の強みを活かした取組に努められていると思います。 ・在宅での生活に重きを置き、地域に根差した活動はまさに地域包括ケアシステムであると常々感じています。今後も各事業所の能力と強みを生かして継続してください。	✓ 「内容等の理解」について、その充足度を評価します ✓ 地域包括ケアシステムの構築にあたっては、その中で各々が果たすべき役割を、明確に理解することが必要であるといえます ✓ 地域包括ケアシステムの構築方針や計画などが無い場合は、「全くできていない」
② サービス提供における、(特定の建物等に限定しない) 地域への展開							
39	○ サービスの提供エリアについて、特定の集合住宅等に限定せず、地域に対して積極的にサービスを提供している	○				・特定の集合住宅等に限定することなく、地域の中でサービス提供に努められています。 ・地域に根差したサービスが提供できていると感じます。	✓ 「特定の集合住宅等に限定しない、地域への積極的な展開」について、充足度を評価します ✓ 看護小規模多機能型居宅介護は、特定の集合住宅等に限定することなく、地域全体の在宅療養を支える核として機能していくことが期待されます ✓ 特定の集合住宅等のみを対象としている場合は「全くできていない」

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
③ 安心して暮らせるまちづくりに向けた、関係者等への積極的な課題提起、改善策の検討等							
40	○ 介護・看護の観点から、地域の関係者に対し、必要に応じて課題提起や改善策の提案等が行われている		○			・運営推進会議や研修を通じ問題提起や改善策の提案等が行われていたと思います。 事業所内においても、こうした会議や研修での情報を共有し、今後の業務に繋げていただけると良いと思います。 ・運営推進会議やカンファレンスなどに介護職、看護職目線の話題提供やケース検討などの実施を検討いただくのはいかがでしょうか。 ・大島圏域に住む利用者・家族の参加、もしくは事前に意見を聴取することで違った視点からの課題検討が出来るのではないかと思います。	✓ 「課題提起や改善策の提案等の取組」について、その充足度を評価します ✓ 今後は、サービスの提供等を通じて得た情報や知見、多様な関係者とのネットワーク等を活用し、必要となる保険外サービスやインフォーマルサービスの開発・活用等、利用者等のみでなく地域における課題や改善策を関係者に対して提案していくなどの役割も期待されます ✓ そのような取組をしたことがない場合は、「全くできていない」
41	○ 家族等や近隣住民などに対し、その介護力の引き出し		○			・家族等にとっては、不安や悩みが生じる場面があると	✓ 「家族等や近隣住民に対する、介護力の引き出しや向上のための

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
	や向上のための具体的な取組等が行われている	<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・十分ではないかもしれないが、介護力向上に向けた地域活動を積極的に行っている。 ・認知症の方に対しては偏見を持たれたり、関りを拒む方もいるが、少しずつ理解が進んでいる印象。引き続き認知症があってもなくても安心して住まえる地域づくりに貢献していきたい。				思います。状況に応じ、傾聴や、対応方法の指導等を行っていただけると介護力の向上に繋がると思います。また、地域の方々がオレンジカフェ等に参加いただくことで認知症の理解が多少なりとも深まると思いますので、今後も積極的な地域活動を継続し、介護力の向上に努めていただきけるとありがたいです。 ・事業所皆さんの地域活動への積極性は評価できるものであると思います。今後もこの地域ならではの課題を吸い上げ、今後の活動に生かしていただければと感じます。	取組」について、その充足度を評価します ✓ 今後は、利用者への家族等や近隣住民の関わりを促しながら、関係者全員の介護力を最大限に高めることにより、在宅での療養生活を支えていくための環境を整えていくなどの役割も期待されます ✓ そのような取組をしたことがない場合は、「全くできていない」

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における意見等	評価の視点・評価にあたっての補足
Ⅲ 結果評価				
① 計画目標の達成				
42	○ サービスの導入により、利用者ごとの計画目標が達成されている	1. ほぼ全ての利用者について、達成されている 2. 利用者の2/3くらいについて、達成されている 3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている 4. 利用者の1/3には満たない <u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・評価がしやすい内容で実現が可能な目標設定を心掛けている。	・引続き、評価しやすく実現可能な目標の設定を心がけ、目標達成に繋がれることを期待します。 ・現実的な目標設定、それに対しての振り返りを継続してお願いいたします。	✓ 「計画目標の達成」について、評価します
② 在宅での療養生活の継続に対する安心感				
43	○ サービスの導入により、利用者およびその家族等において、医療が必要な状況下においての在宅での療養生活の継続に対し、安心感が得られている	1. ほぼ全ての利用者について、達成されている 2. 利用者の2/3くらいについて、達成されている 3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている 4. 利用者の1/3には満たない <u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・満足度調査の結果を踏まえ、概ね安心感が得られているものと思われる。 ・老老世帯や独居世帯も多く、遠方にお住まいのご家族に対し細目に情報提供を行うなど丁寧に対応することで、安心に繋がっているものとする。	・利用者の世帯構成等に合わせ丁寧な対応を行っていることから安心してサービスを利用できることと思います。今後も利用者や利用者家族等を行っていただきたいです。 ・十分達成できていると感じます。 ・地域に出ていると実際に看護小規模を利用していたご家族から話を聞くこ	✓ 在宅での看取りを除く、全ての利用者およびその家族等に対し、サービスの提供により実現された「医療が必要な状況下においての、在宅での療養生活の継続に対する安心感」について、評価します

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における意見等	評価の視点・評価にあたっての補足
			とが多々あるのですが、皆さんが『困っていた時に大変力になってくれた』と感謝されていました。今後もぜひ職員皆さんで丸となりご支援して頂ければと思います。	
44	○ サービスの導入により、在宅での看取りを希望する利用者およびその家族等において、在宅での看取りに対する安心感が得られている	1. ほぼ全ての利用者について、達成されている 2. 利用者の2/3くらいについて、達成されている 3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている 4. 利用者の1/3には満たない 5. 看取りの希望者はいない [具体的な状況・取組内容] ・現在対象者はいないが、体制を整え、受け入れの準備ができていることを要所要所でお伝えし、ご要望があった際には積極的な受け入れをしていきたい。	・要望時に適切な対応が行えるよう日頃から体制を整えていることや、要所要所で利用者や利用者家族等に伝えていることから大変心強いと感じますし、大きな安心感も得られると思います。 ・ACPの視点からも要所要所での説明や意向の確認をお願いいたします。 ・実際に看取りとなると同居家族・利用者本人にもそれ相応の覚悟が必要になるかと思います。家で最期までという思いがある家	✓ 在宅での看取りを希望する利用者およびその家族等に対し、サービスの提供により実現された「在宅での看取りに対する安心感」について、評価します ✓ 在宅での看取りは、事業所内（通い・泊まり）での看取りを含みます ✓ 在宅での看取りの希望者がない場合は、「5. 看取りの希望者はいない」

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
			族・もしくは利用者がいた 場合、のちの後悔がないよ うな選択が出来るように ご支援して頂ければと思 います。	